

公開授業週間等を生かした授業実践ありがとうございました。教科を横断した多角的な知見を蓄積することができました。先生方一人一人の授業実践が、折尾高校全体の授業改善につながっています。是非、教科を超えた様々な事例を通して、2学期に向けてさらに生徒の「深い学び」につながる授業を共に創造していきましょう。

さて、生徒にとってのパフォーマンス課題とは、スポーツで例えると「試合」的な経験や公式戦にあたります。日々の地道な練習の積み重ねの上に身に付けた「知識・技能」を、試合の中で活用・発揮「思考・判断・表現」する、その繰り返しの中で、実社会の課題を解決していけるような生きて働く学力の育成につながるのではないのでしょうか。レポート、発表、作品制作、グループ討論等の「試合」的な経験を指導計画のなかに程よく落とし込み実践していくことで、生徒の基礎・基本の力も引き上げられるはずです。

2学期10月に公開授業週間（12日～25日）がありますが、改めて日頃の授業を見つめ直す機会として御活用ください。

職員研修(5/17)の振り返り

- ・パフォーマンス課題とルーブリック評価が一体となった授業を通して生徒の見えにくい学力（テストでは測りにくい学力）を多面的に測ることができると感じた。
- ・評価はコミュニケーションツールだという言葉に共感した。
- ・単元毎のパフォーマンス課題やリフレクションシートなど、実際にやってみてとてもよいと実感しています。
- ・これが足りないから次にこれを満たすとAになるなどの基準を、生徒は事前を知るからこそ発表の練習をするようになると感じます（ルーブリックの活用）。
- ・パフォーマンス課題やルーブリックは1回使ったら終わりではなく、科目担当で随時情報交換をしながら改善していく必要があると感じた。毎時間学習記録を書かせているが、評価する項目を絞ってよいとわかった。
- ・年度当初の段階で、評価について具体的な内容の打ち合わせができていないので、パフォーマンス課題等について共有検討したいと思います。ルーブリックについては、「項目をしぼる」というところに気付くことができました。

教師アンケート結果の振り返り

質問項目	7月 (R4)	12月 (R4)	6月 (R5)
1 日頃から、ALの視点をもって授業改善に取り組んでいる。	2.9	2.9	3.2
2 教科(科目)内で、評価方法や評価規程(基準)の共通認識が図られている。	3.1	3.1	3.2
3 教科(科目)内で、評価方法や評価規程(基準)を共有している。	3.1	3.1	3.2
4 各単元や単元・題材のまとまりごとにパフォーマンス課題を実施している。	2.9	2.8	3.2
5 ルーブリック等(学習到達度を示す評価基準等)を活用した評価法を取り入れている。	3.0	2.9	3.1
6 ルーブリック等の活用を通して授業改善に取り組んでいる。	2.7	2.7	2.9
7 ルーブリック等を活用したり、パフォーマンス課題を取り入れたりすることで、生徒が主体的に学ぶようになると思う。	3.1	3.1	3.4
8 ルーブリック等(学習到達度を示す評価基準等)を活用して、生徒のパフォーマンス課題等を意図的に評価している。	2.8	2.8	3.1
9 ルーブリック等(学習到達度を示す評価基準等)を、パフォーマンス課題以外にも活用している。活用している場合は、その具体例を記入してください。	1.9	2.2	2.0
10 教科等横断的な視点をもって授業に取り組んでいる(取り組もうとしている)。	2.5	2.4	2.7

公開授業週間授業実践事例

○「ファッション造形」(井上先生)

2時間を通して、本時の目標の達成に向けて多様な手立てと最後にまとめのある、指導が一貫した授業でした。3限に学んだことを生かして4限に「基本的なえりの製図の仕方を理解しよう。」という学習課題を通して、生徒が実際に作品づくりに必要な技術を型紙づくりを通して学んでいました。最終的には3年間の学びを表現するひいらぎ祭につながることで生徒たちのモチベーション維持向上にも寄与していると感じることができた大変充実した内容でした。



製図の確認



本番の前の型紙づくり

○「広告と販売促進」(田代先生・太田先生)

本時の目標「SWOT分析を通して、企業がおかれている環境について調査する。」を基に授業が構成されていました。生徒たちはグループごとに思考の整理を行っており、生徒が効果的にICTを活用していました。



企業しらべ



SWOT分析

リソースガイド(スマホ等で気軽に覗いてみてください)



国立教育政策研究所

「指導と評価の一体化」のための

学習評価に関する参考資料

各教科さまざまなパフ

ーマンス課題の事例

が掲載されています。